

駿河湾で漁獲された白いアカザエビ

岡本一利*

2007年12月9日に、駿河湾の水深約300mでエビ籠により漁獲された白いアカザエビ1個体を入手し、次の結果を得た。白いエビは、体長163mm、頭胸甲長66mm、体重140.6gの雌で、甲殻、鉗脚、歩脚、触角等、体全体が白化していたが、複眼は黒色であった。甲殻類の白化は既に知られているものの、アカザエビの白化についての報告例はこれまでなく、イセエビの事例と類似していた。

キーワード：アカザエビ *Metanephrops japonicus*, 白化, 駿河湾

はじめに

アカザエビ *Metanephrops japonicus* は、銚子から南日向灘の水深200~400mの砂泥底に生息する深海性のエビで¹⁾、駿河湾などの静岡県沿岸では重要な水産資源となっている。

アカザエビの体色は通常赤色であるが、白い体色の個体がエビ籠により漁獲された。アカザエビの白化に関する報告は過去にはなく、今回そのエビに関して調査した結果若干の知見を得たので以下に報告する。

報告に先立ち、アカザエビの入手に御協力いただいた焼津漁業協同組合所属船寿々丸（船長：橋政道氏）ならびに同漁協職員の方々に厚く御礼申し上げる。

材料及び方法

2007年12月9日に、静岡県静岡市沖合の駿河湾の水深約300mにおいて焼津漁業協同組合所属船のエビ籠により漁獲された白いアカザエビ1個体を入手した。その雌雄の確認および体長、頭胸甲長と体重を測定した。

結果および考察

漁獲された白いアカザエビの背面、腹面を図1に示した。白いエビは、体長163mm、甲長66mm、体重140.6gの雌で、甲殻、鉗脚、歩脚、触角等、体全体が白化していたが、複

眼は黒色であった。

甲殻類の白化は、ベニズワイガニ *Chionoecetes japonicus*²⁾、ガザミ *Portunus trituberculatus*³⁾、イセエビ *Panulirus japonicus*⁴⁾、モクズガニ *Eriocheir japonica*⁵⁾、スベスベマンジュウガニ *Atergatis floridus*⁶⁾、イシガニ *Charybdis japonica*⁷⁾、で既に知られているものの、アカザエビの白化についての報告例はこれまでない。

本報告のアカザエビは、体全体が白化し複眼は黒色であった点で、イセエビの事例⁴⁾と類似している。甲殻類の白化の原因については、イセエビについて遺伝的な原因を示唆した例があるものの⁴⁾、現段階では不明である。

今回のように体全体が白化する事例以外に、スベスベマンジュウガニ、イシガニ、モクズガニ等のカニ類では鉗脚等の部分白化が複数報告されている^{5~7)}。エビ類については現在まで部分白化の報告例はなく、エビ類とカニ類で白化のメカニズムが異なる可能性も考えられる。これらの解明には、今後さらなる白化事例の収集が必要であろう。

なお、この白化個体は現在、静岡県水産技術研究所駿河湾深層水水産利用施設内で飼育継続中である。

文 献

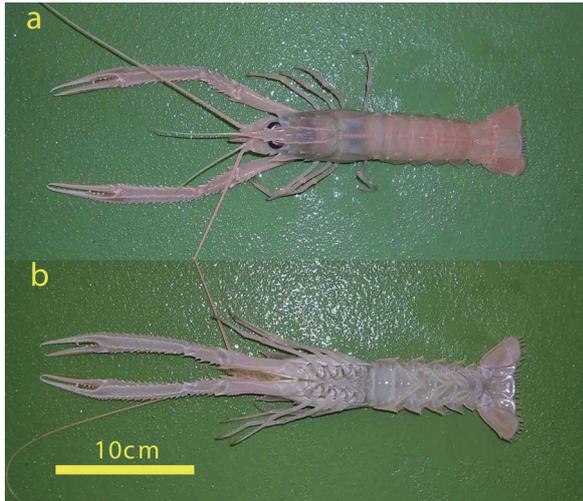


Fig.1 Albino female of the Japanese lobster,
Metanephrops japonicus.

a: Dorsal aspect.

b: Ventral aspect

図1 駿河湾で漁獲された白いアカザエビ雌

- 1) 三宅貞祥 (1982) : 原色日本大型甲殻類図鑑 I, 保育社, 大阪, 77.
- 2) 村岡健作・本間 肇 (1993): 北海道沖で得た白化のベニズワイガニ, *CANCER*, 3, 23~25.
- 3) 有山啓之 (1997): 大阪湾でとれた白いガザミ, *CANCER*, 6, 9~10.
- 4) 岡本一利・御宿昭彦 (1998): 静岡県南伊豆で漁獲された白いイセエビとその脱皮成長, *CANCER*, 7, 17~18.
- 5) 篠川貴司・酒井雅博 (1998): 黄白色の脚を持つモクズガニ, *CANCER*, 7, 19~20.
- 6) 中坪俊之・安原健充 (2000): スベスベマンジュウガニの部分的白化個体, *CANCER*, 9, 5~7.
- 7) 本尾 洋 (2002): 七尾湾で獲れた部分的白化のイシガニ, *CANCER*, 11, 7~9.

Albino Japanese lobster *Metanephrops japonicus* obtained from Suruga Bay

Kazutoshi Okamoto

Abstract An albino female of the Japanese lobster, *Metanephrops japonicus*, was obtained near the lobster pots from Suruga Bay at a depth of 300 m on December 9, 2007. The body was entirely white except for the cornea, which was black. The body length, carapace length, and body weight were 163 mm, 66 mm, and 140.6 g, respectively. This is the first record of an albino in this species.

Key words: *Metanephrops japonicus*, Albino, Suruga Bay